

## 令和4年度 事業報告

令和4年度においても「いばらきDMO戦略」に基づき、観光地域づくりの一層の推進のため、関係者と合意形成を図りながら、各種事業取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、観光振興では「いば旅あんしん割」が10月からは全国に拡大されるとともに、「茨城プレ・デスティネーションキャンペーン(以下「プレDC」という。)」も行われる中、協会としても積極的に様々な観光振興事業を展開してまいりました。

インバウンドにおいては、6月には条件付きではありましたが受け入れ再開となり、7月には海外からの団体旅行が県内に入り始めました。また、海外での旅行博、商談会にも参加し、誘客を図ってまいりました。2月に行われた台湾でのいばらき大見本市及び大商談会にも会員事業者の方々が参加され、協会も大商談会の後援をしたところです。

また、数年中止となっていたイベントや祭りも各地で開催され、With コロナの段階となり、少しずつ観光客が増加しております。偕楽園の梅まつり期間中の協会売店の売り上げも、コロナ前の平成30年並みに戻ってきました。

物産振興においては、各地での物産展等へ積極的に参加するとともに、ひたち海浜公園や偕楽園の売店運営、インターネット通販に力を入れ取り組んでまいりました。

### 1 観光地域づくり推進事業（DMO推進事業）

新たな観光資源の発掘と創出としては、「爆破体験付き特撮ロケ地巡りツアー」や新たな切り口の「レア建築ツアー」などを駅発着バスツアー「いばらきよいとこプラン」の協会独自ツアーとして造成し、高単価かつ人気の商品となりました。食のブランディングとしては、海沿いの市町を中心にいばらきのおすすめグルメをまとめた「いばらきグルメガイド」を配布し、観光消費額拡大を推進したところです。

県産品のブランド化としては、いばらき県産品お取り寄せサイトの出展事業者に対し、新たな土産品の開発支援とブラッシュアップを行いました。また、販路拡大のため、法人需要やプレゼント景品等への提案を行ったほか、クーポン券発行システムを導入し、プレゼント景品などの利便性向上を図ってサイトの利用拡大を図ってまいりました。

おもてなしレベルアップとしては、いばらき観光マイスターによるキャンペーンやラジオ出演による観光情報の発信や、おもてなし講座を開催したほか、マイスター自身のレベルアップのための研修などに取り組んでまいりました。

### 2 観光誘客促進事業

県及びJR水戸支社と連携しプレDCにおける全国宣伝販売促進会議に参画し、本県のおもてなし力のアピールを図るとともに、2023 絶景いばらきカレンダーの製作販売、初詣ポスターの製作掲出、県内や埼玉県での観光物産展の開催、日本観光振興協会主催の仙台駅構内での観光キャンペーンへの参加などにより、観光宣伝に努め、本県への観光誘客を図ってまいりました。

また、SNSを利用した観光スポットや旬の観光話題、食などの情報提供を行ったほか、各市町村観光部署や観光施設からの情報提供を受け情報発信をするとともに、地元ラジオ局の毎週土曜日の枠を各市町村に提供し、各地の観光情報の発信に努めてまいりました。

ツアーオフィスとしては、プレDC期間に合わせて、各市町村等の協力のもと、「食」と体験、観光をセットとした日帰りバスツアーの旅行企画商品を造成し、15コース、252名の参加となりました。

### 3 外国人観光客誘客促進事業

協会内に英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語及びベトナム語の堪能なスタッフを配置し、外国人観光誘客に取り組んでまいりました。

訪日観光客の受入体制整備として、県内在住の外国語(英語)による観光ガイドを育成するため、応募のあった方の中から対象者を絞り、研修モニターツアーやレベルアップ講習を開催してまいりました。また、各市町村や観光施設、宿泊施設等から要望のある外国語表記(翻訳)支援業務を行ってまいりました。

海外からのツアー造成促進として、日本観光振興協会や県国際観光課などが参加する商談会や旅行博への観光ブース出展による観光PR、海外旅行会社や国内旅行会社、ラウンドオペレータなどの招請(ファミツアー)を計15回実施するとともに、国内外の旅行会社等への商品造成のための営業や情報提供にも力を入れ、海外からの誘客促進に取り組んでまいりました。

海外に向けたPR、情報発信としては、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語によるSNSを利用した情報発信に取り組み、各記事に対するコメントに対しては各言語担当者が丁寧に対応してまいりました。

また、本県を観光や視察などで訪れた海外からの17団体に対し、お出迎えをし、記念写真撮影やノベルティプレゼント等のおもてなしを行ったほか、県からの受託による県内周遊貸切バス支援事業やゴルフツアー支援事業を実施してまいりました。

### 4 物産振興事業

新型コロナウイルスが若干落ち着き、イベントにも積極的に参加したことにより、物産展(イベント)においては、130,646千円の売り上げを確保し、令和3年度に対し36,587千円の増(同期比138.9%)となりましたが、コロナ禍前の令和元年度比では88.2%にとどまりました。

アンテナショップについては、偕楽園臨時売店や国営ひたち海浜公園で新規アイテムの取扱いに努めたことにより、254,386千円の売り上げを確保し、令和3年度に対し82,232千円の増(同期比147.8%)、元年度比でも122.4%となりました。

インターネット通販事業については、コロナ対策として令和2年度、3年度は県補助(2割引、送料無料)が行われ、通販利用が大きく拡大しました。今年度は県補助がなくなる中、サイトの継続利用を図るとともに物産事業者支援策として、10月から協会の自主事業として送料無料キャンペーンを実施し、48,377千円の売り上げを確保しましたが、令和3年度比29.5%、115,472千円の減となりました。

物産振興全体で見ると、インターネット通販事業はマイナスとなったものの物産展(イベント)及びアンテナショップの売り上げ増や新たに取り組んだ「茨城県飲食店応援キャンペーン」の売り上げなどにより、令和3年度に対し16,590千円の増(同期比103.9%)で、元年度比でも124.7%となりました。

## 5 地域観光支援事業

市町村や団体等が主催するイベントや催事への後援等を28事業で行うとともに、19件の茨城県観光物産協会会長賞を交付し、地域観光の振興を図ったほか、日本観光振興協会関東支部の観光地美化プランター配布事業に応募する市町村を募集し地域観光の振興を図ってまいりました。